

町田第四小学校の教育

～自分の可能性を見だし、自己実現を図る子どもの育成を目指して～

町田第四小学校は、鎌倉街道に隣接する住宅地にあります。「森野に学校を」という地域の方々の思いと努力で開校しました。

町四小は「豊かな人間性」「学ぶ力」「体力」「自立心」を育成目標として教育活動を進めています。

(1) あいさつ運動

全児童が、交代であいさつ隊として昇降口に立ち、登校してくる児童と元気な声であいさつを交わします。はっきりとした言葉で、相手の顔を見て、誰に対してもすすんであいさつできることが目標です。



▲あいさつ隊

(2) チャレンジタイム

学力の基礎となる計算力・言語力を身に付けさせるため、授業のはじめに計算練習・音読などに短時間集中して取り組んでいます。

(3) 読書タイム

読書を通して子どもたちの豊かな感性や言葉、情操を育むことをねらいとして、週3回、始業時に時間を設定しています。



▲読書タイム

(4) 町四チャレンジ検定

昨年度から、「基礎知識検定」と「技能検定」を始めました。国語、算数、地図など学習の内容に関わるものや、けん玉、将棋、鉄道など興味や関心に応じた検定種目を設けて取り組んでいます。

来年度創立60周年を迎える本校は、保護者や地域の方々の支援も厚く、PTA、青少年健全育成会、森つ子ガーデンを育てる会、ハッピーの会（図書ボランティア）などの方々が、年間を通じて支えてくださっています。



▲チャレンジ検定

町田第四小学校ホームページ：<http://www.machida-ky.ed.jp/e-machida4/>

小川小学校の教育

～保護者・地域と協働して笑顔がいっぱい～

小川小学校は今年度開校40周年を迎えます。開校以来、保護者・地域の方々が学校の教育活動を積極的に支える伝統が脈々と培われてきました。2000年には地域住民の方々から有志を募り、コミュニティ委員会を発足させました。コミュニティ委員会は、①小川小の教育活動をサポートする②学校と地域との円滑な関わりを実現する③子どもたちの健全な生活環境をサポートする、ことをねらいとして年間を通して活動を続けています。現在はスクールボード校（学校支援地域理事）との両輪となり、保護者・地域との連携を深めて様々な体験活動の充実にお力添えをいただいています。今回はその一部をご紹介します。



▲自校水田での稲刈り風景

【1】種籾からおにぎりまで～稲作活動～

コミュニティ委員会、保護者と教職員の会の皆さんにお手伝いいただき、5月から水田で稲を育てます。11月にはお世話になった方々をお招きして稲作感謝祭を行います。

【2】店員体験や多様な交流活動

成瀬が丘商店街の皆さんにご協力いただき、子どもたちが各店舗の店員さんとなります。また、地域のお年寄りや福祉施設等の方々との交流も行っています。



▲盲導犬の活躍を体験

【3】地域講師が大集合～サマークラブ～

20を超える講座が開かれ、授業では扱わない“技”に親しみます。

自分の目で見て、自分の手でやってみる中で、子どもたちは実にたくさんを知り、考えます。その表情は意欲に輝き、すてきな笑顔があふれています。



▲講座の1つ 布ぞうりづくり

小川小学校ホームページ：<http://www.machida-ky.ed.jp/e-ogawa/>



わがまち学校たんけん隊!

山崎小学校の教育

～豊かな体験を目指して～

1980年の開校以来、34年間にわたって保護者の皆さん、地域の皆さんに支えられてきた本校では、日常の授業の他にも様々な体験を通して、子どもたちの健やかな成長をめざしています。

(1) マッスルタイム

すすんで運動に取り組む姿勢を育てること、体力の向上を図ることを目的に、毎週火曜日の朝に実施しています。子どもたちは、「体を動かす集団遊び」、「長縄記録会」、「ペース走」などで、毎回元気に体を動かしています。



▲マッスルタイム（長縄跳び）



▲サマースクール

(ペットボトルロケット作り)

(3) 山小フェスティバル

2年生から6年生の各学級とがんばる学級（特別支援学級）がお店を出して、それを全員で体験します。子どもたちは、「どんな店ならみんなが楽しめるか?」「それは自分たちだけの力で実現できるか?」などを工夫しながら、企画力や運営力を身に付けていきます。



▲山小フェスティバル（輪投げ）

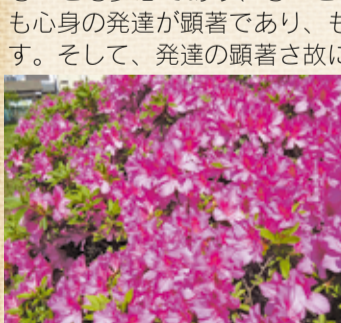
山崎小学校ホームページ：<http://www.machida-ky.ed.jp/e-yamasaki/>

木曽中学校の教育

～美しい学校～

今年度130名の新入生を迎え、新2年生115名、新3年生102名。木曽中学校は、全校347名・10学級の学校です。ここ数年で規模が大きくなり、10学級に達したのは22年ぶりのことです。

中学校の3年間は人生の中ではわずかな期間ですが、もっとも多感であり、もっとも心身の発達が目覚ましい時期です。そして、発達の顕著さ故に心身のアンバランスを生み、揺れ動く時でもあります。



▲5月のツツジ

わたり、物が大切にされる美しい学校です。もうひとつの美しさは、「心の美しさ」です。優しさ・思いやり・責任感・正義感・忍耐力などをもつ豊かな心です。さらに行事では、その「美しさ」を基盤にして「創造力」を身に付けさせたいと考えています。

「春、新しい仲間との校外学習」「上級生に憧れた体育祭」「ケンカもしたけど団結した合唱コンクール」「自分の心と向き合ったマラソン大会」など、家庭や地域の方々に見守られ生徒たちは、今日もこの美しい木曽中学校で挑戦し続けています。



▲春の桜

本校では、この3年間の中学校生活を「知性を磨き」「意志を鍛え」「健康な体をつくる」ことを学校目標に掲げ、生徒は一日一日の生活を積み重ねています。

そして、常に「美しい学校でありたい」と願っています。そのひとつは、きれいな花が咲き誇り、清掃が行き



▲秋のマラソン大会

木曽中学校ホームページ：<http://www.machida-ky.ed.jp/j-kiso/>